記者発表資料

令和元年7月10日

村山･置賜地区災害情報普及協議会

実際の避難行動を踏まえた 地域オリジナルの検討会を開催!

～自分達のハザードマップ作成から水防災対応の避難行動へ～

近年の豪雨災害を踏まえ想定し得る最大規模の降雨に伴う、浸水想定区域に対応した『※まるごとまちごとハザードマップ』の取組みを『長井市舟場・屋城町・東町地区』で実施します。

実際の避難行動単位となりえる自治会単位を対象に自ら主体的な行動に移れるよう検討会を開催します。

１．開催日時　　令和元年７月１８日（木）１８：００～２０：００
２．開催場所　　長井市「交流センターふらり」（約40名出席予定）
３．検討内容　・避難する際の指標となるもの
・手助けが必要な方等の洗い出し
・避難ルートの検討　　等
４．取　　材　　会場での受付後、撮影は随時可能とします。

※まるごとまちごとハザードマップとは
自分たちの街に洪水にかかわる情報を標示して、いざという時に被害を最小限にとどめよう!
という取り組みです。

- 村山・置賜地区災害情報普及協議会
  災害に関する情報の普及を支援するため、関係機関同士が効率的かつ一体的に情報共有し、災害時の連携を強化する組織です。

〈発表記者会〉　山形県政記者クラブ

問い合わせ先

（村山・置賜地区災害情報普及協議会事務局）

国土交通省

東北地方整備局　山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目３番５５号
ＴＥＬ　０２３－６８８－８９３３(直通)
調査第一課長　　栗 田　政 芳（内351）

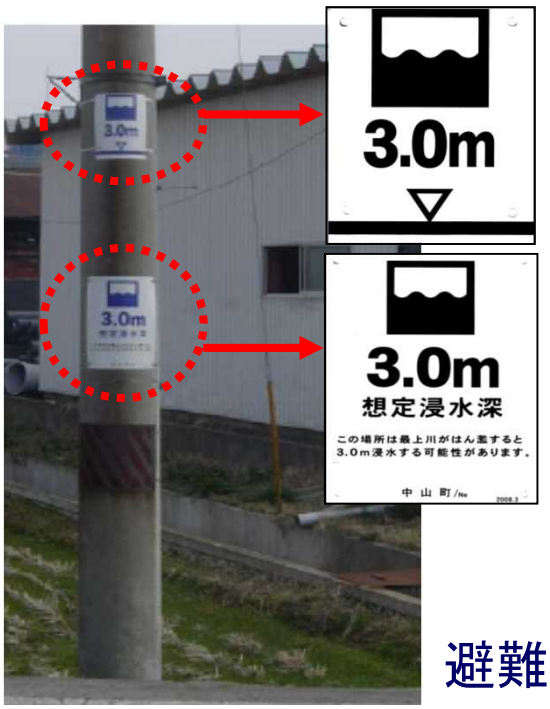
長井市　総務課
長井市ままの上５番１号
ＴＥＬ　０２３８―８４－２１１１（代表）
長井市 総務課長　近 藤　智 規

「まるごとまちごとハザードマップ」とは

①住民、自分たちの手で「洪水ハザードマップ」に書かれている浸水エリア、浸水の高さ、避難所までのルートを把握。

②地図に書き込み、実際歩いて見て「どのタイミング」で「誰を道連れに」どの「ルート」で「どこに避難」するか予め考え訓練しておくもの。

町を まるごと ハザードマップに見立てる





避難場所、避難ルートに案内看板を設置

まるごとまちごとハザードマップの取組みイメージ



危険箇所の確認



避難ルート、危険箇所の確認



避難ルートの決定
避難ルールの確認



現地看板の設置

地区住民へ
防災意識の啓発

別添　会場案内図

長井市「交流センターふらり」



会場の住所：長井市屋城町６−５３

検討会に関するお問合せ及び当日の連絡先
TEL 023−688−8933
（山形河川国道事務所 調査第一課）